

---

# 書かなきや

山羊ノ宮

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

書かなきや

### 【著者名】

ZZマーク

ZZ608Z

### 【作者名】

山羊ノ宮

### 【あらすじ】

とりあえず何かを書かなきやと思った。

とりあえず何かを書かなきゃと思つた。

私に残された時間は少なく、出来る事も限られていた。

書かなきや、書かなきやと思つほどに何も浮かびはない。

誰かへの感謝だろうか。

それとも誰かへの恨みだろうか。

今となつてはそんな事はどうでもよい氣がする。

まるで小骨がのどに刺さった様なもやもやとした気持ちだ。そんな時だ。

ふと浮かんだのは今朝飲んだコーヒーだ。

もしあのコーヒーの中から人が出てきたら面白いだろつか。

私は紙にマグカップを書いた。

そしてそのカップの中に針金の人を描く。

頭の中のその人は浮かんだり沈んだりしていたので、カップの横にと書いた。

ああ、コーヒーだからちゃんと混ぜなきやと、矢印にくるりと円を描く。

けど、そんな事をしたらきっとコーヒーカップの中の人は目が回ってしまうだろう。

目が回るのはどう書いたらいいのだろうと思案していると、目の前が真っ暗になつた。

もうタイムアップだ。

そして、そこで私の命は尽きた。

「何でしうね？このダイイングメッシュセージ」

「もしかして犯人の手掛かりかもしねないな」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7608n/>

---

書かなきや

2010年10月9日07時29分発行